



ずつう あたま いた 頭痛は頭のどこが痛いのか

あたま なか けっかん しんけい げんいん 頭の中の血管や神経が原因

ずつう お げんいん あたま なか いた かん ふと けっかん しんけい
頭痛を起こす原因は、いろいろあります。頭の中で痛みを感じるのは、太い血管や神経
などの一部で、そこがしげきされると、ずつう お
頭痛が起こるのです。

また、あたま ほね きんにく なが あいだつづ ちぢ ずつう げんいん
頭の骨の筋肉が、長い間続けて縮むことも、頭痛の原因になります。

あたま いた かぜをひくと頭が痛くなるのは

かぜをひくのは、ちい ちい い もの はな はい こきゅう
小さな小さな生き物の、かぜのウイルスが、鼻やのど、肺など、呼吸
きかん しめ ひ まく からだ びょうき
器官の、湿ったうすい皮ふのねん膜につくからです。そうすると、体が病気をなおそうと
するはたらきを はじ ぶぶん あか
はじめ、その部分がはれて赤くなります。

はれて赤くなつたところでは、ウイルスの死がいや、ウイルスの出す毒などが、けつえき
なか きゅうしゅう けつえき たいない のう い のう なか たいあん あ
中に吸収されます。そして、その血液が体内をまわって脳へ行き、脳の中の、体温を上げ
るはたらきを、ちょうせつ ぶぶん ねつ だ のう なか いた かん しんけい
調節する部分をしげきして、熱を出したり、脳の中の痛みを感じずる神経を
しげきして、ずつう お
頭痛を起こしたりするのです。（監修・保志 宏）

